



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター上演作品のご案内
金碧障壁画を巡る VR ツアー
VR 作品『安土城から檜図、そして二条城へ』上演

東京国立博物館 東洋館地下1階「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」では、2016年9月28日(水)から12月23日(金・祝)まで、同館が所蔵する国宝「檜図屏風(ひのきずびょうぶ)」をふくむ金碧障壁画(きんぺきしょうへきが)を巡るVR作品『安土城から檜図、そして二条城へ』を上演します。

今回の上演では、戦乱の世から全国統一するまでの時代の流れや歴史を、その時代を象徴する金碧障壁画にまつわる3つの見どころを手がかりに紐解きます。最初は、織田信長が狩野永徳に描かせ、はじめて城郭へ本格的に取入れられた金碧障壁画で、本能寺の変後に焼失し現存していない「安土城天主」。次に、豊臣秀吉が狩野永徳に描かせ、襖絵として製作された国宝「檜図屏風」。最後に、徳川家光が改修した「二条城」の四の間に狩野派が描いた金碧障壁画で囲まれた空間。VR技術によって再現された金碧障壁画をツアーに仕立て鑑賞します。

専属ナビゲーターが案内役となり、VRでよみがえった狩野派の障壁画を鑑賞しながら、あたかもその時代、その場所を訪れたかのような歴史体験を提供します。



VR技術で再現された「安土城」「檜図屏風」「二条城障壁画」

(左)「安土城」 製作・監修：近江八幡市 天主復元案：内藤昌 障壁画復元：平井良直 制作：凸版印刷株式会社

(中)「檜図屏風」 監修：東京国立博物館 制作：凸版印刷株式会社

(右)「二条城障壁画」 監修・データ提供：元離宮二条城事務所 製作・著作：凸版印刷株式会社

VR 作品『安土城から檜図、そして二条城へ』上演について

場所： 東京国立博物館 東洋館地下1階 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

期間： 2016年9月28日(水)～12月23日(金・祝)

時間： 水・木・金 12:00、13:00、14:00、15:00、16:00

土・日・祝・休日 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00

※所要時間は約40分、各回定員90名です。

料金： 高校生以上500円、中学生・小学生300円、未就学児、障がい者および介護者1名無料

※総合文化展当日券(一般620円/大学生410円)とセット購入で一般1000円/大学生800円

※開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。

シアターウェブサイト：<http://www.toppan-vr.jp/mt/>

■ 報道に関するお問い合わせ先

東京国立博物館 広報室 TEL：03-3822-1302 FAX：03-3822-2081

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 パブリシティ担当 TEL：03-5840-4899 FAX：03-5840-1910